

松隈洋講演会

2026. 10. 17

前川國男が問い続けた 建築家の職能と 建築家像を今考える

なぜ今、建築家前川國男を再考するのか？

昭和の著名な建築家やモダニズム建築をただ懐かしみ礼賛するのではなく、その建築家の中から前川國男を取り上げ、前川が社会環境にどの様に向き合って作品を作り、なぜ建築界へ数々の言葉を残したか、前川にとって建築とは何であったのかを松隈先生にお話しいただきます。

開催日時 2026年10月17日(土) 13:30開場
14:00開演 16:30終演

会場 静岡県コンベンションアーツセンター
グランシップ 2F 映像ホール
静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号

参加費 無料（申込み順受付 定員80名）

お申込み 右上QRコード、またはURLにて
<https://forms.gle/cpNwNftiCcrMz2L99>

お問合せ shinken.shizuoka.kouen@gmail.com
こちらからもお申込みいただけます
下記必要事項をご記入の上送信ください
①カタカナで氏名 ②メールアドレス ③電話番号 ④職業

主催 新建築家技術者集団 静岡支部

松隈 洋（まつくま・ひろし）建築史家、神奈川大学建築学部教授、京都工芸繊維大学名誉教授

1957年兵庫県生まれ。1980年京都大学工学部建築学科卒業、前川國男建築設計事務所入所。2000年京都工芸繊維大学助教授。2008年同教授、2023年から現職。工学博士（東京大学）。著書『建築の前夜 前川國男論』により、2019年日本建築学会賞（論文）、『未完の建築 前川國男論・戦後編』により、2025年毎日出版文化賞（人文・社会部門）2026年文化庁芸術選奨文部科学大臣賞（評論部門）と日本建築学会著作賞を受賞。